

KOBE BOYS TOWN

社会福祉法人
神戸少年の町



こども てっぺん

大きな青い空

深い緑の六甲山

穏やかな塩屋の海に抱かれた

自然豊かな

ぼくたちわたしたちのホームタウン

愛すること

ゆるしあえること

人のために尽くせること

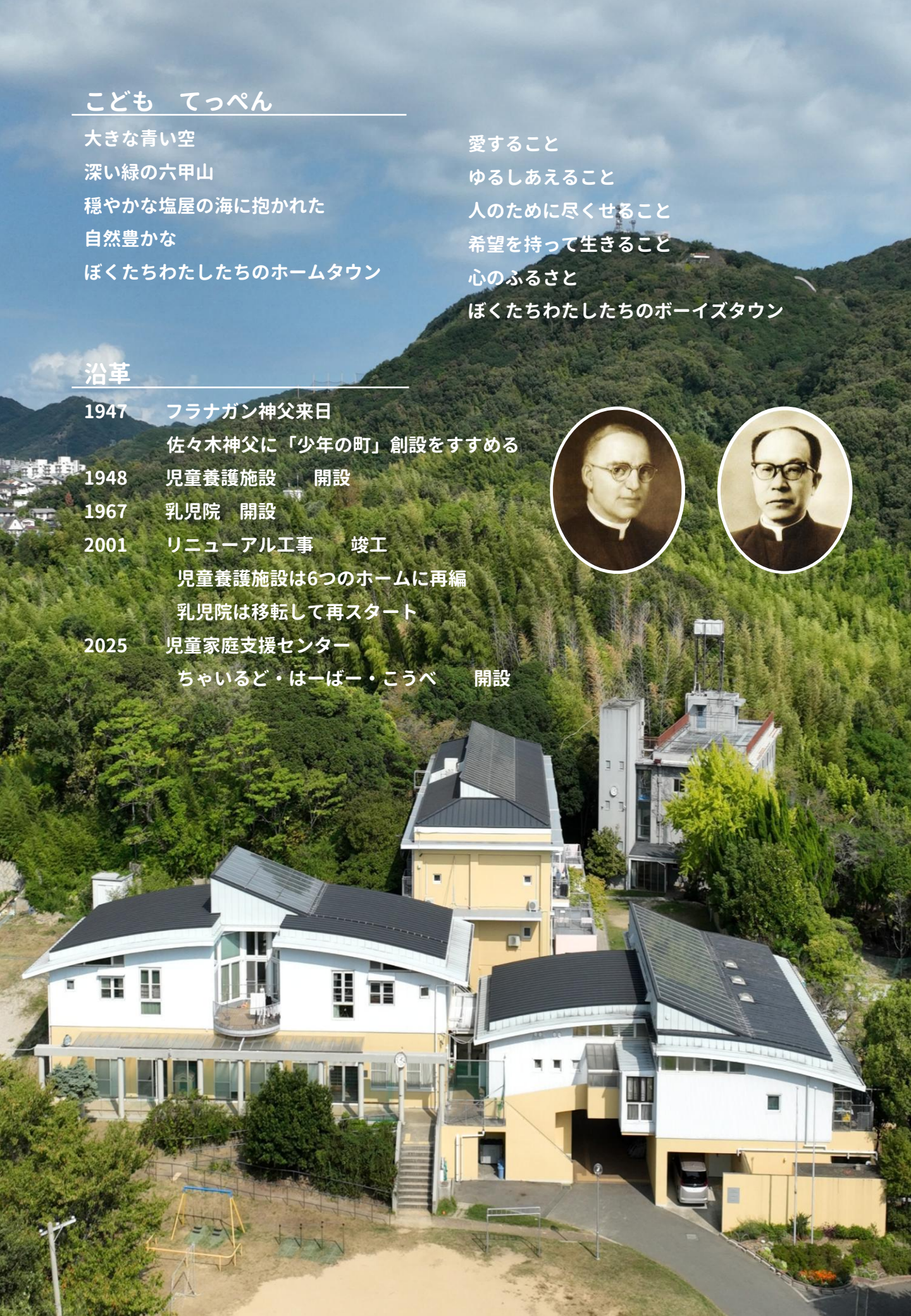
希望を持って生きること

心のふるさと

ぼくたちわたしたちのボーイズタウン

沿革

- 1947 フラナガン神父来日
佐々木神父に「少年の町」創設をすすめる
- 1948 児童養護施設 開設
- 1967 乳児院 開設
- 2001 リニューアル工事 竣工
児童養護施設は6つのホームに再編
乳児院は移転して再スタート
- 2025 児童家庭支援センター
ちゃいるど・はーばー・こうべ 開設



KOBE BOYS TOWN

児童家庭支援センターは、
不登校や発達障がいをはじめ、子ども
や家庭が抱えるさまざまな悩みについて、
児童相談所などの関係機関と連携し、
専門性をもつ相談員や心理士が寄り添い
ながら一緒に考えていきます。

神戸少年の
児童家庭支援センター
ちやいと・はーばーこうべ



相談方法



電話・来所・訪問・出張



プレイルーム



相談室



地域子育て支援

地域に根ざした施設として、近隣の皆さまとのつながりを大切にし、日々の交流を通じて子育てを支援しております。

《おひさまひろば》

親子でゆったりとした時間を過ごしつつ、遊びやおしゃべりを楽しめる交流の場です。

《子育てリフレッシュステイ》

さまざまな事情に寄り添い、神戸市の委託を受けて実施している一時預かり事業です。



児

童養護施設は、

保護や養育が必要な概ね2～18歳の子どもたちが暮らしています。

児童指導員や保育士を始め、たくさんの専門職がチームとなり、子どもたちに寄り添いながら生活を支えています。



現在、同一敷地内に6つのホームを設け、各ホーム6名以下の少人数で生活しています。

メソネットタイプやフラットタイプなど、集合型でありながらも、それぞれが子どもたちにとって安心できる、大切な「家」です。

職員と子どもたちが日々対話を重ねながら、一人ひとりの個性や興味を大切にしながら暮らしをともに育んでいます。



2001年の大規模リニューアル工事を機に、大舎制からホーム制へと移行しました。

より親密な人間関係の中で愛着と信頼関係を育み、子どもたち一人ひとりが、安心して成長できる環境づくりに取り組んでいます。



2024年4月に分園型グループホームを開設しました。地域の方のご厚意により、近隣の一軒家を借りて、家庭的な生活を営んでいます。

ホームの名称は子どもたちと一緒に考え、花言葉やほかのホームの名前を参考にして、「つばき」と名付けました。

KOBE BOYS TOWN

乳児院は、

生後間もない赤ちゃんをはじめ3～4歳
ぐらいまでの子どもが、寄り添う大人と
何気ない穏やかな暮らしをつむぐ
「あかちゃんのもうひとつの
あったかいおうち」です。



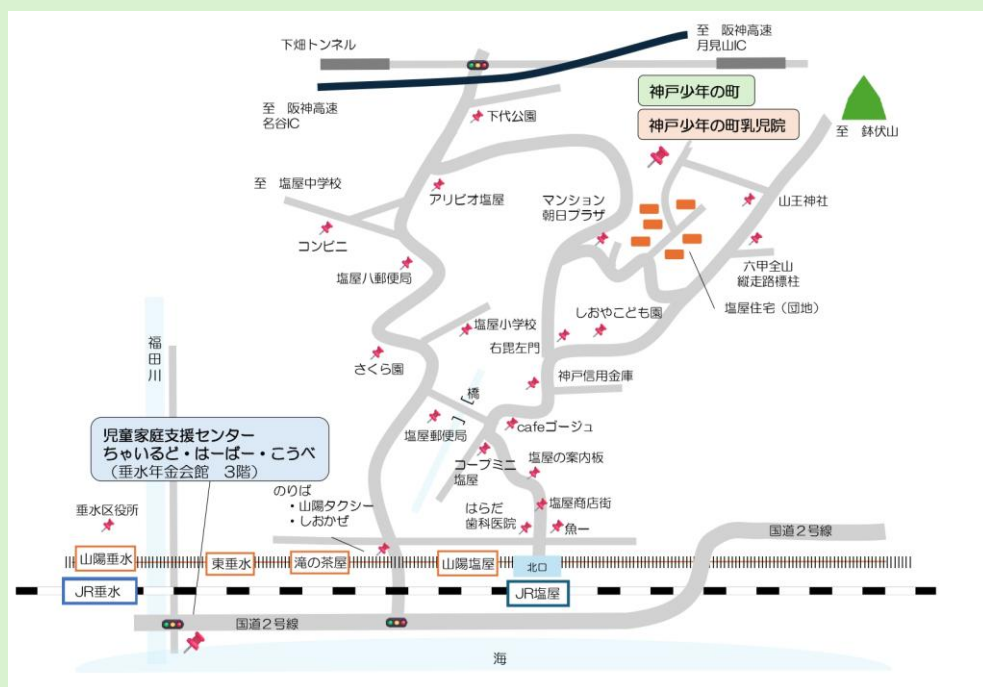
自然溢れる環境の中、温かく明るい雰囲気
に包まれ、たくさんの草花や昆虫たちとともに
四季を感じながら、子どもたちが健やかに成長
していけるよう、職員みんなで見守っています。



子どもたち一人ひとりの状況に合ったきめ細
やかなサポートをするため、専門職（保育士・
看護師・家庭支援専門相談員・里親支援専門
相談員・心理士・栄養士・調理員等）がチーム
となり、支援に携わっています。

また病院、療育機関等とも積極的に連携し、
疾患や障害への対応にも力を入れています。





社会福祉法人 神戸少年の町



児童養護施設

TEL (078) 751-2222

FAX (078) 751-3230

〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町梅木谷720



乳児院

TEL (078) 751-2224

FAX (078) 751-3230



児童家庭支援センター ちゃいんど・はーばー・こうべ

TEL : 078-751-0123 FAX : 078-754-7303

〒655-0892 神戸市垂水区平磯1丁目2-5 垂水年金会館3階